

プレスリリース: 2012年09月05日  
トピック: 新製品情報

## NEC、クラウド型共通ソフトウェア開発環境「ソフトウェアファクトリ」に静的解析ツール「HP Fortify SCA」を導入

- 開発工程のコーディング段階からセキュリティと品質の問題を検出し、問題箇所の指摘と、有効な日本語のガイドに従って修正を行い、後戻り工数の削減や出荷後の問題発生リスク低減を実現

2012年9月5日

日本ヒューレット・パッカード株式会社

日本ヒューレット・パッカード株式会社(略称:日本HP、本社:東京都江東区、代表取締役 社長執行役員:小出 伸一)は本日、アプリケーション脆弱性の静的解析ツール「HP Fortify SCA(Source Code Analysis)」が、日本電気株式会社(略称:NEC、本社:東京都港区、代表取締役 執行役員社長:遠藤 信博)のSI・ソフトウェア開発環境のクラウドサービス「ソフトウェアファクトリ」に採用されたことを発表します。

これにより、開発者がセキュリティの高度な知識を必要とせず問題箇所を発見し修復できるため、後戻り工数の削減や出荷後の問題発生リスクの低減を実現しました。

今回、NECに採用された「HP Fortify SCA」は、ソースコードを静的に解析し、アプリケーションの脆弱性や品質に係る問題点を検出するツールです。昨今、ソフトウェア開発を取り巻く環境は、オフショアに代表される委託開発の活発化にともない、委託開発先のソースコード品質の担保が求められる一方、増加する標的型メール攻撃への対策として、開発の早期段階でのセキュリティ問題の検出が重要になっています。しかし、従来型の開発環境では、非機能要件に代表されるパフォーマンス、バグ、品質、セキュリティ問題など開発工程の実装段階で発生するこれらの問題を検出し、改修するのは難しいのが実状です。更に、昨今の開発期間は、ビジネスニーズの急激な変革に伴い短縮の一途をたどり、テスト期間を十分に取ることさえ許されず、手戻り工数の削減できる開発工程内への検査が開発に適用されることが待ち望まれていました。これに対し、「HP Fortify SCA」では、アプリケーションの構造上発生する品質とセキュリティの問題を、ソースコードをコーディングする段階で高精度に検出することができ、開発者に、セキュリティの専門性の高いこれらの修正方法を問題重要度別的に確にガイドし、より安全なシステム開発を可能にします。

NECのSI・ソフトウェア開発環境のクラウドサービス「ソフトウェアファクトリ」は、NECグループで長年進めているソフトウェア生産革新活動の中核となる戦略的施策であり、ソフトウェア資産、開発管理ツール、テスト用ミドルウェア、テストデータなどを集中管理することで、ソフトウェア開発の標準化・自動化を推進し、品質・生産性の継続的向上を実現します。

「ソフトウェアファクトリ」は要件管理から結合テストまで幅広く支援します。ソースコードの検証ツールもその1つです。NECでは、近年、激増するサイバー攻撃に対する備えを強化するため、対象言語が豊富であること、開発工程の早期段階から効率的に品質・セキュリティ脆弱性の課題を検出可能なこと、結果として後戻り工数の削減や出荷後の問題発生リスクが低減できることを確認し、「HP Fortify SCA」の導入を決定しました。

NEC 執行役員常務 山元正人氏のコメント

「当社では30年以上に渡りソフトウェアの生産革新活動を推進しております。近年は特にクラウドサービス化した開発環境「ソフトウェアファクトリ」による全体最適化されたソフトウェア開発を社内に提供し、全社的に推進中です。「ソフトウェアファクトリ」は集中管理されたリポジトリを中心として、様々な先進的ソフトウェア開発管理ツールを提供していますが、この度「HP Fortify SCA」を全面的に採用いたしました。ソフトウェアに潜むセキュリティ脆弱性を巧妙に突くサイバー攻撃が増加しているため、備えを万全とする必要があり、そのために最適なツールが「HP Fortify SCA」と判断したためです。検証精度が高いこと、幅広い言語に対応していることが決め手となりました。現在、利用環境・支援体制を確立し、着実な成果を確認しております。NECは今後も安心できる高品質なアプリケーション、ソフトウェアをお客様にお届けすることができる環境整備をHP社に代表されるパートナー企業と連携して進めてまいります。」

■日本HPプレスルーム

<http://www.hp.com/jp/pressroom/>

# # #

文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

■お客様からのお問い合わせ先:

カスタマー・インフォメーションセンター TEL: 03-6416-6660

ホームページ: <http://www.hp.com/jp/>

---

PDFファイルをご覧いただくには、Adobe® Reader® が必要です。  
[アドビシステムズ社のウェブサイト](#)より、ダウンロード(無料)の上 ご覧ください。

---